液

五年

画数 11
筆順 氵 汁 汁 液 液
オン エキ
クン

成り立ち

↓ 液 ↓ 液 ↓ 液 ↓ 液

〝腋（わきの下）〟の意味の〝夜（2年235）〟と、〝氵〟とを組み合わせて作った字です。

「わきの下にでる汗」を表した字です。「体から出る水分」という意味で、「胃から出る水分」を〝胃液〟、「口の中に出る水分」を〝唾液〟と呼ぶようになりました。例 粘液、血液。

今では、「体から出る水分」に限らず、「水のようなじょうたいのもの」を〝液〟と言うようになりました。例 乳液、樹液、溶液、液体。

使い方

▽物質には三つの状態があります。気体と液体と固体です。水を例にとりましょう。水は、通常の状態では液体です。しかし、熱すると気体になります。これが水蒸気です。冷やすと固体になります。これが氷です。通常、液体であるか、気体であるか、固体であるかは、その物質によって違いますが、大概の物質は、熱や圧力を加えることによって、状態が変化します。

▽おかあさんは、お風呂からあがると、いつも化粧水と乳液をつけます。そうすると、肌がすべすべするのだそうです。わたしも乳液をつけたことがあります。においは良いのですが、べとべとして、いやでした。

熟語例

▽胃液（胃の中に分泌される消化液）
▽唾液（口の中に分泌される消化液。唾。）
▽粘液（粘り気のある液体）
▽血液（血。動物の体内をめぐって、栄養分や酸素を送り、老廃物を運び去る液体）
▽樹液（木から分泌される液体）
▽溶液（ある物質が溶けて、良く混じり合った液体）

演

五年

画数 14
筆順 氵 氵 氵 演 演
オン エン
クン

成り立ち

↓ 演 ↓ 演 ↓ 演 ↓ 演

石弓（たくさんの石をつめたふくろをとばして、大ぜいの敵をやっつけるしかけの弓）の形を表した〝寅〟と〝水〟のいみの〝氵〟とを組み合わせて作った字です。

「石弓を引く」の〝寅〟は、ここでは「水を引く」の〝引〟の意味に使われていて、〝演〟は「田んぼに水を引き入れる」ことを表しています。

田に水を入れる時には、「広くすみずみまで行きわたる」ようにしますので、「広くすみずみまで行きわたるようにする」という意味に使われるようになりました。例 演説、講演、演劇、演芸、演奏。

使い方

▽選挙が近いので、各政党の候補者があちこちで演説している姿が見られます。どの候補も、精一杯、演説しています。ぼくは、まだ選挙権がありませんから、投票できません。大人になったら、絶対に棄権なんかしないで、良い政治をする人を選びます。

▽テレビでオリンピック中継を見ました。わたしは体操競技を見るのが一番好きです。よく、あんなすごい演技ができるなあと感心してしまいます。わたしは跳び箱を跳ぶのも、こわいのです。わたしも、あんな演技ができたらいいと思います。

熟語例

▽演説（広く人々に対して自分の意見をのべること。）
▽講演（広く人々に対して講義すること。「佐藤先生の講演を聞きに行った」などというふうに、つかいます。）
▽演劇（芝居。人々の前で、物語を劇に演じてみせること。）
▽演芸（人々に見せる大衆的な芸。落語など）
▽演奏（人々のまえで、音楽を奏でること。）